

### 3. まとめ

#### (1) かつしか観光を力強く支える強み

知名度が高い人気映画・テレビアニメの舞台であるため、「葛飾」のイメージを全国へ発信できる

- ・「男はつらいよ」シリーズや「こちら葛飾区亀有公園前派出所」に関する商品戦略は、製作者の意向に左右されるため、外部環境として“機会”にも“脅威”にもなり得ます。しかし、すでにこれら映画・アニメの舞台として全国的な知名度と下町的なイメージを持ち、多くの来訪者を集めていることから、こうした地域イメージ自体は葛飾区の強みであるといえます。

##### 【強みを活かす方向性】

全国的に高い知名度と集客力を持つ柴又の魅力を一層高めるとともに、柴又への来訪者が区内の他の地域も訪れるようになる取り組みを進めます。そのために、「下町気質」「人情味」「古きよき日本」「高度経済成長期の昭和」といった「葛飾」の地域イメージのうち、より強化したいものを明確にしたうえで、地域の新しい魅力づくりを進めるとともに、各年齢層や外国人等への情報発信をさらに強化します。

都内では貴重な広々とした公園や河川敷、緑地や農地といった自然が身近にある

- ・広々と開放的な水元公園や一級河川の河川敷から、堀切菖蒲園等の市街地にある小さな緑地や近郊農地まで、区内の身近なところで自然を感じられます。

##### 【強みを活かす方向性】

河川敷等でのレクリエーション活動や新鮮な「元気野菜」の購入等によって自然の魅力に触れることで、都会の日常生活に潤いを与えるとともに、自然環境の保全に対する意識を高める機会とします。

今後の取り組みによっては誘客力を持つと期待される地域資源が存在する

- ・ 区内には、まだ広くは知られていない寺社や祭り、伝統産業、庶民的な商店街・飲食店街等、今後の取り組みによっては一定の誘客力を持つと期待される地域資源が存在します。

【強みを活かす方向性】

まだ知られていない地域資源を、区民が地元で愛着を持てるような仕組みを取り入れながら積極的に発見し、魅力を高めていきます。

区の東西地域からのアクセス条件が良く、区内は自転車等でゆっくりとめぐることができる

- ・ 都心および千葉方面からの鉄道を使った来訪や首都高速・環状線の利用が便利であるなど、川幅が広い河川に囲まれた区域でありながら、区の東と西の地域からのアクセス条件が良好です。
- ・ 区域は全体として平坦地が多く、江戸川等の河川敷にはサイクリングロードも整備されていることから、自転車等に乗ってゆっくりと、地元住民に近い視線で区内をめぐることができます。

【強みを活かす方向性】

アクセス条件の良さを活かして、区内をより広く、ゆっくりとめぐれるように、例えば、道路沿いの美しい景観づくりや興味をかきたてる周遊ルートづくり等に取り組みます。



## ( 2 ) かつしか観光が抱える弱み

新しい観光資源を開発する取り組みが弱く、既存観光地への施策の偏りがみられる

- ・ 葛飾区ではこれまで、柴又や水元公園、堀切菖蒲園といった既存の観光地への誘客に重点を置いており、若年層や外国人向けに新たな観光資源を開発する取り組みが弱かったといえます。また、定期的な観光動態調査が実施されてこなかったことから、葛飾区における観光の実態を的確に把握できていたとはいえませんでした。

### 【弱みを補う方向性】

柴又や水元公園など、大きな集客力を持つ既存の観光地や近年新たに開発された地域の魅力を一層高めることで賑わいを生み続けるとともに、そこからもう少し足を伸ばして区内を広くめぐってもらうために、まちなか観光という視点で、庶民的な飲食店や銭湯、地元住民向けの商店街等を“新たなかつしかの魅力”と位置づけ、活性化を進めます。

区内をスムーズに移動できる手段が不足している

- ・ 区域の北部に柴又・水元公園等、区の顔となる観光地が立地していることに加えて、昨今、亀有駅周辺の再開発によって、北部地域がさらに大きな集客力を持つようになりました。しかしながら、北部地域への来訪者や区民が、気軽に南部地域を訪れることは容易ではありません。

### 【弱みを補う方向性】

今後、区民の区内観光を推進し、来訪者の区内での滞在時間を延ばすために、新たな移動手段の開設に向けて検討を進めます。同時に、区内の観光資源同士を歩きたくなるテーマでつながりルートを設定する等、来訪者が区内を広くめぐることができる取り組みを進めます。

観光振興に対する区民の意識が低く、観光推進体制も充分とはいえない

- ・ 葛飾区の観光振興に対する一般区民の関心は、必ずしも高いとはいえません。葛飾区観光協会等の観光関連組織の機能や、区内民間事業者の観光に取り組む姿勢の多くについても、全国の先進観光地の受け入れ態勢に比べると、まだ充分とはいえません。

**【弱みを補う方向性】**

受け入れ態勢の主たる担い手は、来訪者と直に接する観光関連の事業者であり、さらには観光振興の経済的・文化的な恩恵を受ける区民です。来訪者および区民自身へ葛飾区での充実した時間を提供するために、民間事業者をはじめ観光関連の各主体がそれぞれの役割をしっかりと果たせるよう人材育成を図り、広く区民が主体となった観光まちづくりを推進できる仕組みづくりを行います。